

大阪市手をつなぐ育成会アンケート【ご家族・保護者向け】

大阪市手をつなぐ育成会では、12月1日に近畿知的障がい者福祉大会の開催を予定しています。

今大会の主たるテーマを“災害時における障がい児者の避難支援”としています。

本大会で講演およびシンポジウムを実施するにあたり、ご家族・支援者の皆さまが困りになっていることや疑問に思われていることについて、事前にお伺いして可能であれば織りませたいと考えています。

お手数をおかけいたしますが、質問への回答をお願いいたします。

【回答締切日】2024年（令和6年）11月17日（日）

【提出方法】

- ・メール添付 honbu@city-osaka-ikuseikai.or.jp
- ・FAX 06-6765-5623
- ・インターネット回答 <https://qr.paps.jp/w1ot>



アンケート回答フォーム
QRコード

回答につきましては、あてはまる項目に○をしていただくほか、必要に応じて詳細をご自由にご記入ください。（選択肢は複数選択していただいて構いません）

※本アンケートでの「避難支援」とは、「情報収集」「避難判断」「避難誘導」「避難先支援」をいいます。

※本アンケートでの「公的」サービスとは、福祉サービス（介護保険サービス・障がい福祉サービス等）をいいます。

1. 回答者について

(1) 障がいのご家族（お子さま）がお住まいの市町村

<input type="text"/>	都・道	<input type="text"/>	市・区
	府・県		町・村

(2) 回答者の属性（1つだけ○をしてください）

- ・ご家族、保護者（65歳以下）
- ・ご家族、保護者（65歳以上）
- ・その他

(3) 同居されている障がいのある方、支援が必要なご家族の人数を教えてください。

	人
--	---

(4) 障がいのあるご家族（お子さま）の年齢（回答日現在・あてはまる欄に○をしてください）

	7歳未満	7～12歳	13～15歳	16～18歳	19～30歳	31～40歳	41～50歳	51～60歳	61歳以上
1人目									
2人目									
3人目									
4人目									
5人目									

(5) ご家族・保護者（回答者）の年齢（回答日現在・あてはまるものに○をしてください）

- ・ 20歳以下
- ・ 21歳～30歳
- ・ 31歳～40歳
- ・ 41歳～50歳
- ・ 51歳～60歳
- ・ 61歳～70歳
- ・ 71歳～80歳
- ・ 81歳以上

(6) 障がいのあるご家族（お子さま）の居住状況（あてはまる欄に○をしてください・複数回答可）

	親と同居	本人の兄弟と同居	本人の配偶者と同居	親・兄弟・配偶者以外の親類と同居	独居	入所施設、グループホームなど
1人目						
2人目						

3人目						
4人目						
5人目						

2. 日頃の困りごとを解決するための連携

(1) 防災・減災に関わらず、ご家族・保護者として当事者の困りごとを解決する際に連携している関係者をご回答ください。(あてはまるものに○をしてください・複数回答可)

- ・ 民生委員・児童委員
- ・ 町会や自治会などの役員
- ・ 地区の団体（例：福祉委員会、地域社会福祉協議会、青年対策委員会など）
- ・ 自主防災組織
- ・ 学校PTA(親の会)
- ・ 近隣住民、友人、知人
- ・ 自立支援協議会関係者、利用している福祉サービス事業所
- ・ 地域福祉を担う地域の団体（NPOなど）
- ・ 商店（弁当店含む）
- ・ その他

3. 障がいのあるご家族（お子さま）に対するこれまでの避難支援

(1) 障がいのあるご家族（お子さま）所属する事業所や学校等の個別支援計画、自立支援計画、サービス等利用計画などのアセスメント項目にあるものをご回答ください。(あてはまるものに○をしてください・複数回答可)

- ・ 災害リスクの有無
- ・ 可能性のある災害リスクの災害種別
- ・ 災害リスクの詳細
- ・ 必要な避難支援
- ・ 避難についての連絡方法と連絡先
- ・ 避難の支援者
- ・ その他

(2) 障がいのあるご家族（お子さま）と一緒に起こったことのある避難支援についてご回答ください。

①平時（災害発生前）（あてはまるものに○をしてください・複数回答可）

- ・避難に関する本人・自分以外の家族との話し合い
- ・災害リスクの確認
- ・避難先の確認
- ・避難支援の個別支援計画、自立支援計画等への位置づけについて福祉事業所や学校への要望
- ・自治会等との話し合い
- ・連絡体制の確認
- ・その他

②災害発生の恐れがある場合（例：台風による避難情報が出されている状況）（あてはまるものに○をしてください・複数回答可）

- ・避難を促す声かけ
- ・避難誘導方法の確保（結果、確保できなかった場合も含む）
- ・自治会等との連絡調整
- ・避難情報の収集
- ・気象情報の確認・収集
- ・公的サービスによる避難先の確保（結果、確保できなかった場合も含む）
- ・公的サービス以外の避難先の確保（結果、確保できなかった場合も含む）
- ・その他

(3) 実際に避難が必要な場面で感じた避難支援上の困りごと・課題をご回答ください。

①～⑤の項目に自由にご記入ください。

①情報の収集

②避難の判断

--

③避難誘導

--

④避難先の確保

--

⑤避難先での生活支援

--

(4) 実際に避難が必要な場面で感じた避難支援上の困りごとや課題の要因として考えられることをご回答ください。

①本人拒否(本人とご家族のお考えにあてはまる理由に○をしてください・複数回答可)

- ・避難先環境(例:和式トイレ、大広間など)
- ・災害リスクの理解不足(例:これぐらい大丈夫)
- ・他者への遠慮(例:迷惑をかける)
- ・避難支援者がいない
- ・本人(あるいはご家族)が自宅とは異なる場所に行きたがらない
- ・その他

--

②本人、ご家族への地域の支援体制（あてはまるものに○をしてください・複数回答可）

- ・ 平時の付き合いがない
- ・ 本人の支援依頼の拒否（近所の人に頼みにくい等）
- ・ ご家族の理解不足（家族だけでだけで対応できる）
- ・ ご家族の支援がない・できない（本人が独居、ほとんどご家族と一緒にいない等）
- ・ 地域の避難体制がない
- ・ 話し合ったことがない
- ・ その他

③公的サービス（ショートステイの利用について）（あてはまるものに○をしてください・複数回答可）

- ・ 平時からショートステイの利用枠（ベッド数）が足りないと言われた
- ・ 感染症対策により新規のショートステイ利用が困難と言われた
- ・ 平時利用していない人の緊急利用手続き（事前契約が必要など）が煩雑であると言われた
- ・ 災害発生の恐れがある段階でのサービス利用が困難と言われた
- ・ ショートステイを使ったことがなく事前の契約がない
- ・ その他

④その他の要因（具体的に記述ください）

4. 支援している人における専門的な避難支援の必要性

(1) 現在、障がいのあるご家族と一緒に住んでおられますか？（1つだけ○をしてください）

- ・ 同居している → 「5. 同居している障がいのあるご家族の避難支援についてお聞きします。」の設問へ
- ・ 同居していない → 「6. 本人と家族の避難支援の認識」の設問へ

5. 同居している障がいのあるご家族の避難支援についてお聞きします。

(1) ご家族や知人・地域の支援だけで避難できない人（以下、「避難支援に専門性を要する人」と言います）で、専門性を要する理由をご回答ください。（あてはまるものに○をしてください・複数回答可）

- ・医療的ケアを要する
- ・介護的ケアを要する
- ・精神的ケアを要する
- ・その他

(2) 避難支援に専門性を要する人の専門的支援が必要な場面をご回答ください。（あてはまるものに○をしてください・複数回答可）

- ・情報収集・伝達
- ・避難判断
- ・移動
- ・避難先での滞在
- ・その他

(3) 避難支援における専門的支援の現状をご回答ください。（1つだけ○をしてください）

- ・公的サービスで解決済み（利用している福祉事業所のサポート等）
- ・解決できていない
- ・その他

(4) 同居されている障がいのあるご家族や支援が必要なご家族について、避難支援における専門的支援を要すると考えている、または感じている人数をご回答ください。

人

(5) (3)で「解決できていない」と回答した方にお聞きします。解決できていない課題・支援をご回答ください。(あてはまるものに○をしてください・複数回答可)

- ・本人、ご家族が避難を判断するのに必要な情報の収集・伝達体制の構築
- ・本人、ご家族が避難判断できない場合の適時の声かけ体制の構築
- ・本人が避難先に移動する方法・体制の確立
- ・本人が長時間滞在できる避難先の確保
- ・本人が避難先で長期滞在するための生活支援方法・体制の確立
- ・その他

6. 本人とご家族の避難支援の認識

(1) 過去の災害では、高齢者・障がい者の被災率が高いとの報告があることについて、回答者のご認識を教えてください。(1つだけ○をしてください)

- ・知っていた
- ・知らなかった

(2) 本人とご家族の防災・減災に関する取組みについてご回答ください。(あてはまるものに○をしてください・複数回答可)

- ・ご家族が利用する事業所等の災害リスクを認識している
- ・防災・減災に関する講演会・講話に参加した
- ・自身の避難計画を作成している
- ・ご家族と避難や避難先等を話し合っている
- ・利用する事業所の災害対応マニュアルやBCPを把握している
- ・その他

(3) 避難行動要支援者対策の理解・認識していることをご回答ください。(あてはまるものに全て○をしてください・複数回答可)

- ・「避難行動要支援者名簿」を聞いたことがある
- ・住んでいる市町村の「避難行動要支援者名簿」の対象者要件を把握している
- ・本人、ご家族が避難行動要支援者であるかどうかを把握している
- ・避難行動要支援者に係る個別避難計画(個別計画)を知っている
- ・避難行動要支援者に係る個別避難計画(個別計画)を作成したことがある
- ・その他

(4) 避難行動要支援者の個別避難計画作成の必要性についてご回答ください。(1つだけ○をしてください)

※個別避難計画とは避難支援が必要な人が予め避難先、避難のタイミング、避難支援の内容、避難支援者などを決めておく計画のこと

- ・必要である
- ・必要ない
- ・その他

(5) 現在、避難行動要支援者に対し個別避難計画の作成を福祉専門職が行っている市町村があります。担当の福祉専門職と一緒に個別避難計画を作成することについてご回答ください。(1つだけ○をしてください)

- ・作成できる → 「(7) 自分や家族の避難行動、避難生活について感じていることなどをご記入ください。」の設問へ
- ・作成は難しい → 「(6) (5) で「作成は難しい」と回答した人にお聞きします。」の設問へ

(6) (5) で「作成は難しい」と回答した人にお聞きします。

個別避難計画を作成することが難しい原因・要因・理由をご回答ください。(あてはまるものに全て○をしてください・複数回答可)

- ・作成する時間がない
- ・作成の優先順位が判断できない
- ・これまでの個別支援計画等に項目がない
- ・計画様式がない
- ・避難先の確保が困難
- ・公的サービスの避難支援に活用できない
- ・避難先での生活援助の確保が困難
- ・避難誘導に関して地域と話し合う機会がない
- ・個別避難計画の研修の機会がない
- ・防災・減災に関する研修の機会がない
- ・災害リスクの確認方法が分からない
- ・避難支援の協力者が分からない

- ・災害イメージがわからない
- ・所属する福祉事業所の理解が得られない
- ・その他:

(7) 自分や家族の避難行動、避難生活について感じていることなどをご記入ください。

7. お住まいの市区町村に対して、防災に関するご要望がありましたらご記入ください。

ご協力いただき、ありがとうございました。

◆アンケート実施にあたっては「(一社) 社会調査協会倫理規程」を確認しています。

(1) 調査データは統計的に処理されます。個人のプライバシーの保護については十分配慮し、回答者にご迷惑をおかけすることはありません。

(2) ご協力いただきました調査結果については、集計結果を広く公開することも予定しております。

(3) アンケート調査への回答および用紙の提出によって、アンケート調査への協力について同意したこととみなさせていただきます。

上記(1)から(3)の趣旨にご理解いただきご回答をお願いいたします。